

授 業 科 目 名	特別活動の指導法	教 員 名	中原 邦博 (実務経験のある教員)	免許・資格 との関係	小学校教諭	必修
			遠藤 宏美		幼稚園教諭	
授 業 形 態	講義	担当形態	オムニバス		保育士	
科 目 番 号	SID206	配当年次	2年前期	卒 業 要 件	こども音楽療育士	
単 位 数	2単位				小幼コース	必修
科 目 目 的	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（小学校）					
施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等	特別活動の指導法					
一 般 目 標	<p>望ましい集団活動を通して、児童の人間形成を図ることをねらいとする特別活動の意義を理解し、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事について具体的な実践例の検討や指導計画の作成をすることができる。</p> <p>(1) 特別活動の意義、目標及び内容 特別活動の意義、目標及び内容を理解する。</p> <p>(2) 特別活動の指導法 特別活動の指導の在り方を理解する。</p>					
到 達 目 標	<p>(1) 特別活動の意義、目標及び内容</p> <p>1) 学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解している。</p> <p>2) 教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解している。</p> <p>3) 学級活動・ホームルーム活動の特質を理解している。</p> <p>4) 児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質を理解している。</p> <p>(2) 特別活動の指導法</p> <p>1) 教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を理解している。</p> <p>2) 特別活動における取組の評価・改善活動の重要性を理解している。</p> <p>3) 合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を例示することができる。</p> <p>4) 特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解している。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。」「3. 教育者として、持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている。」「4. 教育に関連する事柄について、継続的・主体的に学ぶ学習能力を身につけている。」「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>					
授 業 の 概 要	<p>特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体である。</p> <p>学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付けることが求められる。</p> <p>望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達や個性の伸長、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的態度を育てるとともに、自己の生き方について考えを深める能力を養う時間である。この授業では、特別活動の趣旨や目標、教育的意義について概観し、各教科、道徳、総合的な学習の時間との関連について考察する。その上で、具体的な実践事例の検討や、指導計画の作成等を通して、実践的指導力を身に付けさせる。授業形態は講義とする。アクティブラーニングとして、振り返り、個別の質疑応答、グループディスカッション、小テストなどを取り入れる。</p>					
授 業 計 画	[担当：遠藤 宏美]					

第1回：オリエンテーション、特別活動とは何か、改訂の趣旨に関する学習

(1)オリエンテーション

(2)特別活動改訂の趣旨及び要点

〔学習指導要領解説 特別活動編 第1章〕(目標(1)-1), 2), (2)-1))

第2回：「特別活動の目標」に関する学習

(1)特別活動の目標

(2)特別活動の基本的な性格と教育活動全体における意義

〔学習指導要領解説 特別活動編 第2章〕(目標(1)-1), 2), (2)-1))

第3回：「学級活動の目標と内容及び指導計画」に関する学習

(1)学級活動の目標及び内容について

(2)学級活動の指導計画及び内容の取扱いについて

〔学習指導要領解説 特別活動編 第3章第1節〕(目標(1)-1), 3), (2)-1), 4))

第4回：「児童会活動の目標と内容及び指導計画」に関する学習

(1)児童会活動の目標及び内容について

(2)児童会活動の指導計画及び内容の取扱いについて

〔学習指導要領解説 特別活動編 第3章第2節〕(目標(1)-1), 4), (2)-4))

第5回：「クラブ活動の目標と内容及び指導計画」に関する学習

(1)クラブ活動の目標及び内容について

(2)クラブ活動の指導計画及び内容の取扱いについて

〔学習指導要領解説 特別活動編 第3章第3節〕(目標(1)-1), 4), (2)-4))

第6回：「学校行事の目標と内容及び指導計画」に関する学習

(1)学校行事の目標及び内容について

(2)学校行事の指導計画及び内容の取扱いについて

〔学習指導要領解説 特別活動編 第3章第4節〕(目標(1)-1), 4), (2)-1), 4))

第7回：「指導計画の作成と内容の取扱い」に関する学習

(1)指導計画の作成に当たっての配慮事項

(2)内容の取扱いについての配慮事項

(3)入学式や卒業式などにおける国旗及び国歌の取扱い

(4)特別活動の指導を担当する教師

(5)特別活動における評価

〔学習指導要領解説 特別活動編 第4章〕(目標(1)-1), 2), (2)-2), 4))

[担当：中原 邦博]

第8回：「学級活動の指導方法」に関する学習及び評価そのⅠ

(1)「楽しい学級」(2年)の指導事例を通して

(2)「2学期の係りを決めよう」(4年)の指導事例を通して(目標(1)-3), (2)-2), 3))

第9回：「学級活動の指導方法」に関する学習及び評価そのⅡ

(1)「かぜの予防」(3年)の指導事例を通して

(2)「将来の仕事」(6年)の指導事例を通して(目標(1)-3), (2)-2), 3))

第10回：「児童会活動の指導方法」に関する学習及び評価そのⅠ

(1)代表委員会活動の指導事例を通して(目標(1)-4), (2)-2), 3))

第11回：「児童会活動の指導方法」に関する学習及び評価そのⅡ

(1)図書委員会活動の指導事例を通して(目標(1)-4), (2)-2), 3))

第12回：「クラブ活動の指導方法」に関する学習及び評価そのⅠ

(1)「球技クラブ」の指導事例を通して(目標(1)-4), (2)-2), 3))

第13回：「クラブ活動の指導方法」に関する学習及び評価そのⅡ

(1)「漫画・イラストクラブ」・「パソコンクラブ」の指導事例を通して(目標(1)-4), (2)-2), 3), 4))

第14回：「学校行事の実際」に関する学習及び評価そのⅠ

	<p>(1)異年齢集団による交流を充実させる大掃除の指導事例を通して (目標(1)-4), (2)-2), 3))</p> <p>第15回:「学校行事の実際」に関する学習及び評価そのII</p> <p>(1)運動会における児童の主体的な取組を実施した指導事例を通して (目標(1)-4), (2)-2), 3), 4))</p> <p>期末試験:試験期間中に実施する。</p>
学生に対する評価	<p>期末試験70%、レポート30%とし、総合的に評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業又は個別の面談を通して、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
時間外の学習について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>事前学習:毎回講義の最後に次回の講義項目を伝えるので、必ず事前にテキストあるいはプリント等の予習をし、不明な点を調べておくこと。</p> <p>事後指導:講義内容に関するレポートや小テストを課すので、解答して正解を確認した上でファイルしておくこと。</p>
テキスト	<p>『小学校学習指導要領 (最新版)』</p> <p>『小学校学習指導要領 (最新版) 解説 特別活動編』</p> <p>『みんなでよりよい学級・学校をつくる特別活動』小学校編 (文科省、国立教育政策研究所)</p>
参考書・参考資料等	<p>『小学校学習指導要領 (最新版) 解説 総則編』</p>
担当者からのメッセージ	<p>特になし</p>
オフィスアワー	<p>中原:メールで連絡をとること。 Email: knakahara@edu.miyazaki-mic.ac.jp</p> <p>遠藤:メールで連絡をとること。 Email: hendo@edu.miyazaki-mic.ac.jp</p>